



大学産業院セミナー(2019年11月)

大学産業院は、徳島大学の研究成果を社会実装することを目的とした学長直轄の組織で、大学病院をモデルに「世界の問題を解決するための教育・研究・産業を振興する組織」として、2018(平成30)年4月から「研究開発事業部門」と「企画戦略部門」の2部門体制で活動を開始した。学内から産学連携活動を先導する教員を選出して、それぞれを伴走支援する産業院コーディネータを配置し、研究の進捗管理、学内外との折衝、民間企業とのマッチングなどの伴走支援を集中的に行うことにより、研究成果の社会実装化や大学発ベンチャー企業設立等を推進している。また、「組織」対「組織」の産学連携活動を推進するため、新規産業の創出に向けた事業の企画立案や社会と大学を結びつけるための連携協定の締結も進めてきた。

2018(平成30)年8月に開催した産業院キックオフシンポジウムでは、企業や行政機関、大学の関係者など多くの方に参加いただいた。また、シンポジウムの懇親会では、産業院教授である宇都教授が開発した「水溶性藍」

を用いたドリンクや料理が参加者の方々に振舞われ、会場は大変賑わっていた。この他にも、大学産業院セミナーの開催や社会産業理工学研究交流会への参加などを通じて、学内教員をはじめ、県内外の企業への協力関係の構築を試みた。

2019(令和元)年度からは新たに「教育・経営支援部門」を設置し、起業意識・ビジネスマインドをもった学生・教職員の育成、アントレプレナーシップ教育の推進やセミナー等の啓発活動を行っている。さらには、スタートアップを連続的に生み出し成長させるための組織として、「スタートアップ・スタジオ(U-tera(ユーテラ))」を設置し、起業に興味のある学生や教職員を支援する体制の整備を進めているところである。

大学産業院では、今後もこれらの活動を通じて、新しい研究・教育の在り方として新規産業創出モデルを本学から発信するとともに、大学の研究成果を迅速に事業化・産業化することにより、「世界の問題を解決するための教育・研究・産業を振興する組織」を目指していく。



徳島県、ミヤリサン製薬株式会社と協定締結(2019年6月)



株式会社ジェイテクトと協定締結(2019年6月)



四国の大学研究シーズ発見視察会(2019年2月)



Matching HUB Kanazawa(2018年11月)



U-teraミニセミナー(2019年7月)



産業院・産学連携スタッフ(2019年)



産業院キックオフシンポジウム(2018年8月)



藍屋久兵衛の水溶性藍を用いた藍色スイーツ(産業院キックオフシンポジウム2018年8月)